

「違法」な移動とその管理
— 占領期日本への「密航」・「密貿易」を巡って —

朴 沙羅
(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

2012年3月



京都大学グローバル COE
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」
Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本報告書は日本の降伏（1945年9月）からサンフランシスコ条約締結（1952年4月）までの7年間を対象として、朝鮮半島・台湾・沖縄といった旧植民地と内地との間で行われた「密航」（「不法入国」）と「密貿易」の実態を明らかにしようと試みたものである。

国会図書館等、国内外の公文書館に所蔵されている文献資料から「密航者」の出身地・性別・年齢等を分析した結果、主に生産年齢の男性が朝鮮半島・台湾・奄美・沖縄から九州・中国・山陰地方へ「密航」していたことがわかった。また彼らの出身地は戦前・戦中に日本郵船あるいは朝鮮郵船・台湾郵船が定期航路を開いていた地域と重なっていた。一方、沖縄との「密貿易」に関しては内地出身の日本人が最大の担い手であったことが明らかになった。

2010年度次世代研究「戦後東アジアにおける国境管理体制の成立と親密圏の変容」（研究代表：朴沙羅）による成果である。

【メンバー】（）内は2010年度プロジェクト時点

朴 沙羅（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）